

令和元年度 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会馬術競技場における
衛生管理委託事業に係わる「マダニ駆除計画」に関する第2回有識者会議議事録

日時：令和元年 6 月 17 日（月） 10：00～11：00

場所：農林水産省 会議室（143）

参加者：農林水産省 山本課長補佐

横澤係長

田中担当専門官

農業・食品産業技術総合研究機構 寺田獣医学博士

㈱アグリマート 白井技術グループリーダー

国際衛生㈱ 犬塚副部長、鈴庄（記）

令和元年度の馬事公苑および海の森公園におけるマダニ調査計画に関して、第1回調査結果の報告及び今後の方針確定を目的に、会議を実施した。以下、会議概要を示す。

【会議概要】

第1回マダニ調査の報告

- ・ 第1回マダニ調査について、概要を報告。（犬塚）
- ・ 第1回調査について、報告書に基づいて詳細を報告。（鈴庄）
- ・ 馬事公苑、海の森公園とも、フランネル調査、リター層調査（経過観察2週間の時点）でマダニは確認されなかった。
- ・ 馬事公苑は、7月中旬に予定されている一部施設の引渡しを実施するため、工事がピークを迎えており、予定の半分程の箇所しか調査できなかった。工事は10月末まで実施予定（内装工事含む）。また、引渡しの関係上、第2回調査は馬が搬入される7月12日までに実施する。
- ・ 海の森公園では、工事が実施されていない箇所（東側植林地の池付近）にて、多数のカラスを確認、営巣している可能性が示唆された。また、調査時にはマダニの宿主となり得るネコも確認された。
- ・ 小型哺乳類がマダニの宿主になっているかを確認するために今年度よりネズミ調査を実施。海の森公園では、10箇所にトラップを設置するも、ネズミの捕獲は確認されず。馬事公苑は工事、天候の関係でトラップ設置場所の選定は実施したが、設置できず。第2回マダニ調査時に併せて実施予定。
- ・ 馬事公苑、海の森公園とも、8月開催のプレオリンピック前にコースや緑地の薬剤施工が計画されている。

今後の対応について

- ・ 今回、海の森公園にてネズミ調査を実施したが、同時にネコも確認されており、ネズミが捕食されている可能性がある。また、馬事公苑では工事がピークを迎えており、工事車両の移動や振動などネズミが生息しにくい環境であると思われます。今後のネズミ調査について、皆様のご意見を伺いたい（犬塚）

→ネズミ調査は、小型哺乳類がマダニの宿主となっている可能性が高いので、調査は継続したほうが良いと考えます。また、馬事公苑に関しても、設置箇所などは限定されるが、実施したほうが良いと考えます（寺田様）。

- ・ 海の森公園では、工事がほぼ終了し、人の立入が少ない東側植林地で多数のカラスが目撃されています。餌は他の場所で摂取していると思われます。このまま放置すると、巣作りを行い、数が更に増加して、競技期間中の馬だけでなく、工事や調査のスタッフに危害を与える危険があります。カラス駆除に関する連絡は農水省にきていますか？（犬塚）

→カラス駆除に関する連絡は来ておりません（横澤様）。

※後日、横澤様からオリンピック組織委員会に確認したところ、海の森公園のカラス対策を講じることは考えていないとのことであった。

- ・ 海の森公園調査時にカラスを多数確認したとのことだが、調査はどのタイミングで実施していますか？（山木様）

→調査は昼頃に実施しています（犬塚）。

→朝と夕方、カラスはどこにいますか？（山木様）

→水路を隔てた向かい側の埋立地にゴミが集積されており、日中は埋立地でゴミを漁り、夕方に戻ってきているのではないかと思います（寺田様）。

- ・ 海の森公園では、厩舎はテントでプレオリンピック前に1棟、最終的には2棟設営される予定（田中様）。

→プレオリンピック時には海外の馬も競技に参加しますか？（寺田様）

→馬ピロプラズマ病原虫陽性の馬は日本にこないが、海外からの馬も競技に参加する予定です。また、馬事公苑ではプレオリンピック時には北側の厩舎のみ使用し、南側は使用しない予定。また、検疫は厩舎の中で実施する予定です（田中様）。

- ・ トラップを用いたネズミ調査を実施しているが、喫食量調査で確認できないか？（白井様）

→誘引源に使用している飼料が多数のダンゴムシ、ワラジムシに加害されており、喫食量で確認するのは難しいと思われます（犬塚）。

- ・ 馬事公苑の武蔵野自然林で、ウッドチップが敷かれ、草が少なくなり、乾燥した環境になっています。この環境はマダニに影響しますか？（犬塚）

→針葉樹のウッドチップなら忌避効果があるかもしれません。また、草が少なく、乾

燥している環境はマダニが生息しやすい環境とは思えません（寺田様）。

- ・ 馬事公苑では、馬の動線（厩舎、アリーナ、放牧場周辺など交差する可能性が高い箇所）が工事のため、当分調査ができない状況です（犬塚）。

→プレオリンピック前は実施可能な範囲で調査を行い、プレオリンピックで実際の馬の動線などが確認できるので、プレオリンピック後の調査ではそれらを反映させてはどうか（寺田様）。

今後の予定

- ・ 第2回現地調査を実施後、8月中旬以降に第3回有識者会議を開催、プレオリンピックの現状を反映した調査方法の検討を行う。
- ・ カラス対策、ネコ対策を実施しているかを組織委員会に確認する（横澤様対応予定）。
- ・ 海の森公園については、カラス対策が必要であることを有識者会議の意見として上程する。

以上